

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

CRSを合言葉に額中第2期黄金時代を築きましょう



自治委員会主催の人権集会で標語の発表 12月7日(月)

人権週間 12月4日(月)~12月10日(木)



12月7日(月)に自治委員会主催の人権集会を開催しました。先週、生徒は、「いじめ、インターネットにおける人権侵害、新型コロナウイルス感染症に関連した差別や偏見」、この3つのテーマの中から選択して、標語を書きました。その中から、自治委員が特に心に残った作品をテーマごとに代表作品を選んでくれました。次の3つを代表作品として紹介されました。

- ・いじめに関する標語
『『友達だろ』そういつて 何かをうばう人 そんな人なんか 友達じゃない』(3年生 Nくん)
- ・インターネット・SNSによる人権侵害に関する標語
『ネットなら 書いていいのか その言葉』(2年生 Sさん)
- ・新型コロナウイルス感染症に関連した差別や偏見に関する標語
『見えない敵と戦った 皆のために戦ったなのに友とも戦うなんて』(1年生 Mくん)

代表作品の紹介後、自治委員が、次のことを発表しました。

「発表してくれた3人の標語を、額中生全員が意識することで、額田中学校からは、いじめも、ネットによる人権侵害も、そして、コロナによる差別や偏見も、起こることはないでしょう。」

「また、どんなことにもチャレンジし、仲間をリスペクトし、ともにスマイルになる額田中のCRSも、人権を尊重する大切なスローガンです」

「これからも、すべての人が人権を守られ、生き生きと生活できるクラスや学年、学校を目指して、一人一人が人権意識を高めていきましょう」

「今日発表した3人の他にも、皆さんに紹介したい作品がたくさんありました。提出してくれたすべての作品を、人権を理解する作品コンクールに応募しました、ご協力ありがとうございました」

自治委員会が、人権集会を企画運営し、人権について真剣に考える機会を設定しました。人権週間にふさわしい内容でした。自治委員会の皆さん、集会の準備、運営、ありがとうございました。

最後に、新型コロナウイルスに関連した動画を視聴しました。



動画の中で、新型コロナウイルスには、3つの感染「病気・不安・差別」が考えられると訴えていました。「病気・不安・差別」の3つが関連し合って、人権を侵害していると伝えていました。新型コロナウイルスの感染拡大を断ち切るには、我々一人一人の考え方、行動を変えていくしかないことを学びました。「いつ、だれが感染するかわからない」「優しさと思いやりの心をもつ」ということを意識して生活し、ウイルスに負けない力をつける必要性を感じました。

2年生64名全員参加の総合的な学習 「株式会社ラグーナテンボス」の取材学習 12月10日(木)



12月10日(木)の日程

- 9:00 額田中出発
- 9:45 ラグーナ着
- 10:00 ツリー前で集合写真
- 10:10 入場・班別学習
- 顧客の立場で園内散策
- 社員の立場で取材
- 14:50 エントランス集合
- 15:00 ラグーナ発
- 15:45 額田中着



順調に運行してくださった運転手さんに感謝
MさんとYさん



株式会社ラグーナテンボス
SさんとAさん



天気に恵まれ、2年生64名全員参加の「ラグーナテンボス取材学習」は大成功でした。2年生は、ラグーナテンボスで働いている人に、勇気を出して仕事内容、やりがい、困った事などを質問するChallengeをしていました。班別行動でお互いに助け合いRespectする姿がありました。生徒のSmileをたくさん見ることができました。ラグーナテンボスのSさん、Aさんは、「真剣に取材する額田中学校の生徒は立派です」と話してくださいました。CRSの総合学習でした。

体育館下倉庫の椅子の整理整頓に向けて少しずつ動き出しています

椅子30脚収納できるボックスが8個あります。30脚×8=240脚は収納されています。残り約300脚を収納するボックスが必要です。



校務員のTさんが、体育館下倉庫の椅子を収納する30脚用のボックスを8個制作してくださいました。このボックスにはキャスターを付けてあるので、移動がスムーズにできて便利です。体育館下倉庫には、ボックスに収納されていない椅子が約300脚あるので、ボックスに入れて整理整頓をしたいと思います。そこで、Tさんに椅子収納用のボックスを製作してもらうようお願いしました。早速、キャスター付きでないボックスを1個製作してもらいました。生徒がボックスに入ると、40脚収納できました。Tさんに感謝です。